

ミニレター

あぜみち通信

令和7年12月1日
300号

編集・発行：（一社）愛知県農業会議

◎ 令和7年秋の叙勲で農業会議関係者が受章されました

令和7年秋の叙勲で、石原國彦氏（現 知立市農業委員会会長）が旭日単光章の栄に浴されました。

石原氏は、愛知県農業会議の会議員、常設審議委員として在任していただき、本会議の発展はもとより農業振興を始めとする地方自治の発展にご貢献されました。その功績に改めて敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

◎ 常設審議委員会（11月）の審議状況等について

11月11日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法に係る諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

10の農業委員会から農地法第5条に基づく転用事案17件、125,986㎡、愛知県から同法41条に基づく利用権設定事案1件、1,423㎡について諮問があり、審議の結果、いずれも原案のとおり許可（同法第41条については裁定）して差し支えない旨承認されました。

（参考） 諮問農業委員会

瀬戸市(1件)、小牧市(1件)、稲沢市(1件)、日進市(1件)、あま市(1件)、安城市(4件)、西尾市(1件)、豊田市(1件)、新城市(5件)、豊川市(1件)

◎ 地域協議会を開催しました

10月に実施した尾張地域協議会に続き、次のとおり各地域協議会を開催しました。

11月4日 東三河地域協議会 於：豊橋市役所

11月5日 知多地域協議会 於：半田市役所

11月7日 西三河・豊田加茂合同地域協議会 於：豊田参合館

11月13日 海部地域協議会 於：飛島村役場

11月17日 新城設楽地域協議会 於：新城市役所

それぞれ関係各農業委員会会長、事務局長始め、愛知県農林水産事務所から農政課長等にもご出席いただき、尾張地域協議会同様に、①地域計画のブラッシュアップに向けた取組、②地域計画の変更に伴う取り扱い、③農地売買事業等、④所有者不明農地対策、

⑤愛知の農業委員会活動活性化運動の推進、⑥情報事業の推進等について協議しました。

ブラッシュアップについては、それぞれの地域の実情を踏まえ取り組む一方で、当面、話し合いの場を設ける予定もない地域もありましたが、地域計画の変更にあたっては、事務的に煩雑になりこれまで以上に時間を要することから、関係機関の意見聴取をいかに効率的に処理するか等が課題となっています。また、タブレット端末の更新について、協議会開催時点において、国の予算措置等の情報もなく、翌年度以降のセキュリティー対応などが懸念されておりますので、農業会議としても情報の収集に努めてまいります。

◎ 農業委員会等関係者が知事表彰を受賞されました

11月17日に「愛知県庁講堂」において、「第77回愛知県表彰式」が開かれ、靱山芳輝氏（元武豊町長・元愛知県町村会会長）が地方自治功労者として、小澤隆氏（元碧南市農業委員会会長）、福岡信久氏（元日進市農業委員会会長）が産業功労者として愛知県表彰を受賞されました。心からお祝い申し上げます。

靱山氏は愛知県農業会議の副会長に、小澤氏は同会議員に、福岡氏は同監事に在任していただきました。本会議の発展に尽くされた功績に対し、改めて敬意を表し、心からお礼を申し上げます。

◎ 常設審議委員会の現地調査について

11月21日に常設審議委員会の現地調査を実施し、豊川市のひまわり農業協同組合音羽支店会議室をお借りし、①豊川市長沢地区における農地利用最適化に向けた取組について、一般社団法人ファーム長沢の里 会計担当者員 小野卓也氏から、②営農型太陽光発電の取組について、有限会社こだわり農場鈴木 代表取締役 鈴木晋示氏からご説明いただき、質疑応答・意見交換の後、鈴木氏の営農型太陽光発電設備設置農場を視察しました。



◎ 「米だ！新米だ！あいち食育祭り 2025」が開催されました

11月22、23日に名古屋市中区の金山総合駅南口広場での「金山にぎわいマルシェ」において、3回目となる「米だ！新米だ！あいち食育祭り 2025」が開催されました。

これは愛知県産米の消費拡大に向け連携協定を締結する県稲作経営者会議（八木輝治会長）とJAグループ愛知水田農業経営者協会（川村定之会長）で組織する「あいちの米麦大豆消費拡大連盟」が主催となり、会場には、稲作経営者会議のほか、JAあいち経済連、東海農政局等のブースが設置され、食育やお米に関するパネル展示、トラクターの展示、米粉を使った「たこやき」の販売などが行われました。



オープニングでは、「第1回フォトコンテスト」の入賞者表彰式が行われ、応募総数 115 点の中から、金賞の yua_19072 様ほか、銀賞 5 点、銅賞 10 点が選ばれ、賞状と副賞として、お米ギフト券などが贈られました。また、応募いただいた方先着 100 名様にブランド米「愛ひとつぶ」パックご飯を贈呈しています。



フォトコンテスト表彰式に参加された皆様

◎ 愛知県選出の自由民主党国会議員への要請を行いました

11月27日に東京都の「衆議院第2議員会館」において、農業会議の川上会長と地域協議会会長7名で訪問し、全国農業委員会会長代表者集会で決議予定の「令和8年度農業関係予算の確保及び新たな基本計画の実現と農業構造の転換の推進に向けた要請書」に基づき、愛知県選出の自由民主党国会議員への要請活動を行いました。

臨時国会で多忙な中、衆議院議員愛知6区の丹羽秀樹自由民主党愛知県支部連合会会長、同8区の伊藤忠彦前復興大臣、同15区の根本幸典農林水産副大臣、参議院議員の藤川政人予算委員長にお集まりいただきました。要請書をお渡しした後、地域計画の実現とブラッシュアップへの取組を始め、担い手の育成、営農型太陽光発電設備への転用、鳥インフルエンザ対応、これからの農業の構造転換を進めるための予算措置などについて、意見交換することができました。



松田会長、平野会長、杉浦会長、藤川議員
根本議員、伊藤議員、丹羽議員、川上会長、外山会長、水野会長、熊澤会長
布目会長

その後、「文京シビックホール」において、一般社団法人全国農業会議所主催の令和7年度全国農業委員会会長代表者集会に参加しました。

代表者集会では、國井正幸全国農業会議所会長から、臨時国会後に駆けつけた来賓の鈴木憲和農林水産大臣、藤井比早之衆議院農林水産委員長、坂本哲志農業委員会等に関する議員懇話会会長へ、決議した要請書を直接お渡しすることができました。

続く活動事例報告では、富山県入善町農業委員会から「地域計画策定までの取組について」と題し、今後も継続して話し合い、農地を今後も守っていくとされ、長崎県長与町農業委員会の「地域計画の見直し 新しい試み」では、女性農業

代表者集会
(文京シビックホール)



左から國井会長、鈴木大臣、藤井委員長、坂本会長



委員が中心となって若者懇談会を開催することとなったこと、群馬県明和町農業委員会からは「担い手を支える多角的な取り組み 農業委員会がつなぐ地域と農村」と題して、担い手不足を補うための新たな農業法人の設立について報告がありました。

◎ 東海・近畿ブロック女性農業委員研修会が開催

11月28日、能登川コミュニティセンター（滋賀県東近江市）において、令和7年度東海・近畿ブロック農業委員会女性委員研修会が開催され、愛知県からは農業委員会レadiesあいち 渡邊由美子監事（清須市農地利用最適化推進委員）始め14名の女性農業委員・事務局職員が参加しました。

研修会は、「どうなる日本の食料・農業？私たちは、今何を知り、何をすべきか」をテーマに東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授 鈴木宣弘氏の講演後、グループ討議を行いました。なお、今回は静岡県開催となります。

今後の主な行事予定

- 12月 9日 常設審議委員会（桜華会館）
- 1月14日 常設審議委員会（桜華会館）
- 1月20、26日 地域計画ブラッシュアップ研修（ウィルあいち）
- 1月21、22日 全国農業委員会女性協議会女性の委員登用促進研修会（主婦会館）
- 2月 3日 常設審議委員会及び地域協議会会長会議（三の丸庁舎）
- 2月17日 都道府県農業会議会長会議（主婦会館）
- 3月 4日 理事会及び常設審議委員会（桜華会館）
- 3月 4日 女性の農業委員会活動推進シンポジウム・女性の委員のための農業者年金セミナー（砂坊会館）

12月3日刊行図書のご案内

はじめての農業委員会 4 農業委員会業務の手引 基礎編

はじめて委員や事務局員になった人は、なにをやるべきか分からない経験をするかもしれません。元京丹波町農業委員会事務局長の永武幸子さんに編集協力を頂き、はじめて農業委員・推進委員や事務局員になられた皆様が農業委員会業務を実施するにあたって、事務局員を務めた経験上、必要だった基礎事項を整理。

農業委員会の基礎知識や農地制度、農地法3・4・5条をできる限りわかりやすくまとめておりますので、研修会などの資料等としてご活用ください。新任委員や事務局員に向けた研修教材としてもお勧めできる一冊です。

コード番号：R07-33 定価 550円



お問い合わせ先：一般社団法人愛知県農業会議（TEL:052-962-2841 FAX:052-953-0399）